

令和6年度 信学会小諸野岸幼稚園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

- (1) 明るく元気に遊べる子ども (2) 身近な自然に興味を持ち、自らかかわれる子ども
 (3) 豊かな感性を身につけ、自分の気持ちを表現できる子ども (4) 自分から挨拶し、人とかかわれる子ども

2. 本年度の重点目標

あそび・・・やってみよう！みんながあそびマスター しぜん・・・どうして？なんで？だいはっけん
 お話の日・・・見て、聞いて、伝えよう あいさつ・・・おはよう、さよなら、ありがとう

3. 自己評価

- A…十分達成されている B…達成されている
 C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	B
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・先生方が子ども一人ひとりを良く見てくださっている。連絡帳やお便り、降園時に丁寧に対応して下さり、安心してお願いできる園である。個性を大事に温かく見守っていることを感じる。大事にしてほしい。
- ・園の取り組みには課題はあると思うが、良い点をみんなで確認しさらに良いものにしていくことが大切である。
- ・クラスの日常やラーニングストーリーで子どもたちの成長の様子を共有することがとても良いと思う。
- ・親として様々な考えがあるし、人の数だけ意見があるのは当然である。子どもたちのことを考えての意見だと思う。改善点は検討していただき改善を、良い点は維持しさらに良いものになるようにして行ってほしい。
- ・募集については少子化で大変だと思うが、広告等を活用して広く情報を発信してはどうか。
- ・行事や日々の活動が充実しているので、実際の園の生活がわかるようなイベントを企画してはどうか。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・教育課程・指導について本年度は、年度初めの指導だけになってしまった。職員が同じ方向を向いて進むためには、折に触れ扱うことが必要だ。確認することで職員の意識が高まる。次年度は計画的に扱っていく。
- ・本年度はマニュアルの見直しを行い、全職員が一冊ずつ持つようにした。今後も加除修正を行いながら、より使えるものにしていく。また保護者との情報の共有は今行っていることを中心に、さらに充実させていく。
- ・園舎内外で危ないと感じる箇所は事務局と相談して随時修繕しているが、自分たちでも対応しながら園児の安全を第一に考え整備していく。日頃の点検をより丁寧に行っていく。
- ・園児募集については近隣の市町村にチラシを置いたり、ホームページに園公開の情報を入れたりしながら園を多くの人に知ってもらうように努力したい。